



市民ネットワーク鶴ヶ島は
大野ひろ子を
市議会に送っています



6月議会報告 2014.8
発行 / 市民ネットワーク鶴ヶ島
鶴ヶ島市富士見2-12-15



<http://www.tsuru-net.org/>

2035年、埼玉県の 一人暮らしの高齢者は38万に

一人暮らしの高齢者が急増
核家族化、少子高齢化の流れから、
一人暮らしをする65歳以上の高齢
者が全国で急増しています。

独居老人の増加率は、沖縄県、埼
玉県、神奈川県で高くなってい
ます。

埼玉県は2035年に、83%増
の38万人になる見通しです。

自宅で暮らせる
地域とは

一人暮らしの高
齢者が困ることは、
掃除、食事といった
毎日の生活行動と
買い物、通院といっ
た外出などがあげ
られます。

平成27年度介護
保険制度第6期の
改定で、要支援1・2の内、こうい
った生活支援のサービスが市町村
の事業に移行します。

現在、介護サービスを利用してい
る方も、また、今は一人で生活でき
ている方も、高齢者の多くは先行き
に不安を感じています。



厚生労働省が行った調査では、
70%以上の方が、介護を自宅で受
けたいと答えているそうです。

可能な限り住みなれた地域で、自
宅で暮らし続けるためには、医療や
介護、介護予防、そして、日常の生
活支援が一体的に利用できる地域
の条件整備が不可欠となります。

埼玉県は医療過疎
地域！

かかりつけ医の重
要性や、往診等医療体
制の整備も聞こえて
きますが、埼玉県は全
国でも下位の医療過
疎地域です。

そして、鶴ヶ島市は
全国810市町村の
内、病院・診療所数7
67位、医師数780位という大変
不安な数字となっていることも現
実です。

生活に寄り添う医療があつてこ
その、地域包括ケアシステムと言え
るのではないのでしょうか。